

尿酸生成抑制薬フロー図

2025年1月初版

尿酸生成抑制薬

(薬価2026.4月)

アロプリノール

先発 なし

後発 21.6円200mg/日

フェブキソスタット

先発40.0円40mg/日

後発15.9～17.0円40mg/日

トピロキスタット

先発27.3円40mg/日

尿酸値低下作用が強い

フェブキソスタット

服用回数が1日1回

フェブキソスタット

OD錠がある

フェブキソスタット

がん化学療法に伴う
高尿酸血症の適応

フェブキソスタット

併用禁忌がある

フェブキソスタット・
トピロキスタット

皮膚障害の
重大な副作用

アロプリノール

腎機能障害患者に注意

アロプリノール

心血管疾患患者に注意

フェブキソスタット

効能・効果	第一推奨薬	第二推奨薬
高尿酸血症	フェブキソスタット(フェブリク®) がん化学療法に伴う高尿酸血症の適応取得 尿酸値低下作用が強い 服用回数1日1回 口腔内崩壊錠あり 腎障害患者において中等度までは用量調節の必要はない 心血管疾患の増悪や新たな発現に注意 併用禁忌がある メルカプトプリン水和物、アザチオプリンを投与中の患者	アロプリノール 長期維持療法において良好な血清尿酸値のコントロール 重篤な皮膚障害の副作用あり 尿酸値低下作用が弱い 腎機能障害患者への投与は重篤な転機を辿る場合があるため減量等が必要

3種類(アロプリノール、フェブキソスタット、トピロキスタット)の尿酸生成抑制薬が発売されている

推奨後発品

フェブキソスタット

「サワイ」「トーワ」「ニプロ」「DSEP」

アロプリノール

「サワイ」「トーワ」「杏林」